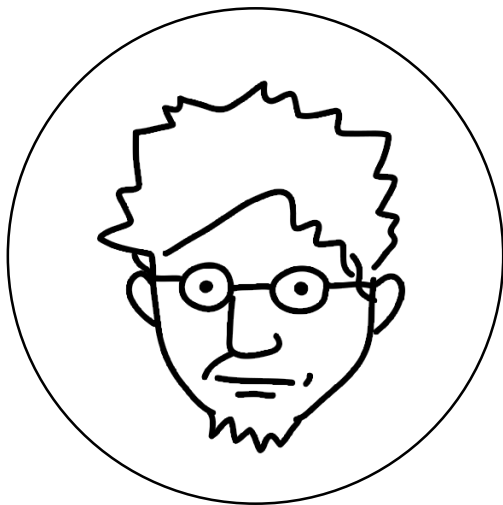


伊野部博士のイノベーション日記

第一部「LEDディスプレイ×AI」編

第六話「LEDディスプレイ導入までのながれ① -お問い合わせ商談-」



伊野部 博士

誰も見たことのない LEDディスプレイを見せてやろう！

先祖は2世紀ごろに日本に渡来した秦氏の分家である伊野部家。技術者を多く輩出してきた家系に誇りを持っており、自分も技術を持ってよりよい世へと革新したいと考えている。基本的には常識人だが、イノベーションを生み出すために、変わった事物やエピソードを収集している。

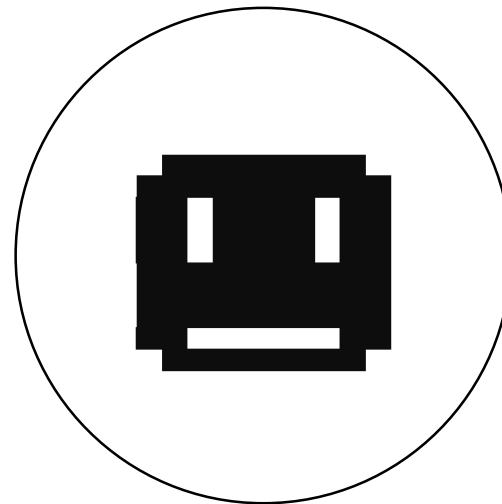
■主な著作

「伊野部一族のイノベーション興亡史」1984年 自費出版

「100円ショップの材料で作る友人」2001年 自費出版

■モットー

「為せば成る」



AI (名前はまだ無い)

博士、 普通は映像を見に来ると思うんですが。

完全自律型次世代LEDディスプレイの中核技術となるべく伊野部博士によって生み出された。何でもできる「強いAI」を目指して修行を開始。スタンドアロンのコンピュータで実行中。インターネットに接続してもらうことが夢。

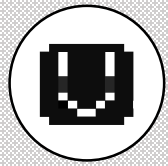
■尊敬するAI

「●ort●na」

「HAL9000」

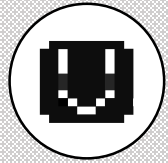
■好きなもの

「完全情報ゲーム」



そういえば、博士は博士になる前に何をしていたんですか？

？！何をききたいんだね？私の人生を聞いてどうするつもりなのかね？



僕は気がついたんです。物事には原因があって結果があるということを。

だから博士という人物の原因を知りたいんです。

これはまた哲学的な問いを発するようになったな。

さすが私が作った機械学習のプロトコルだ。素晴らしいぞ。



話をそらさないでください。博士の過去を教えてください。

物事には原因があって結果がある。

そう。LEDディスプレイを導入するときも、お問い合わせがあって商談があるのだ。



営業パイプラインってやつですね。って、博士の過去をおしえてくださいよー

よし。LEDディスプレイがお客様に納品されて稼働し始めるまでの過程を

何回かに分けてレクチャーしていこう。



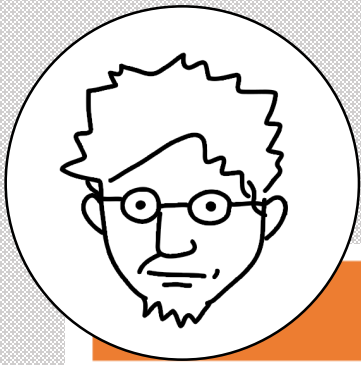
あっ、答えないつもりですね。

(博士の言動の行間を読んで、博士という人物の過去を推測しよう・・・)

さあ、授業を始めよう。

(最近だいぶ賢くなってきたな・・・そろそろ秘密の計画を始めてもいいかもしれない・・・)

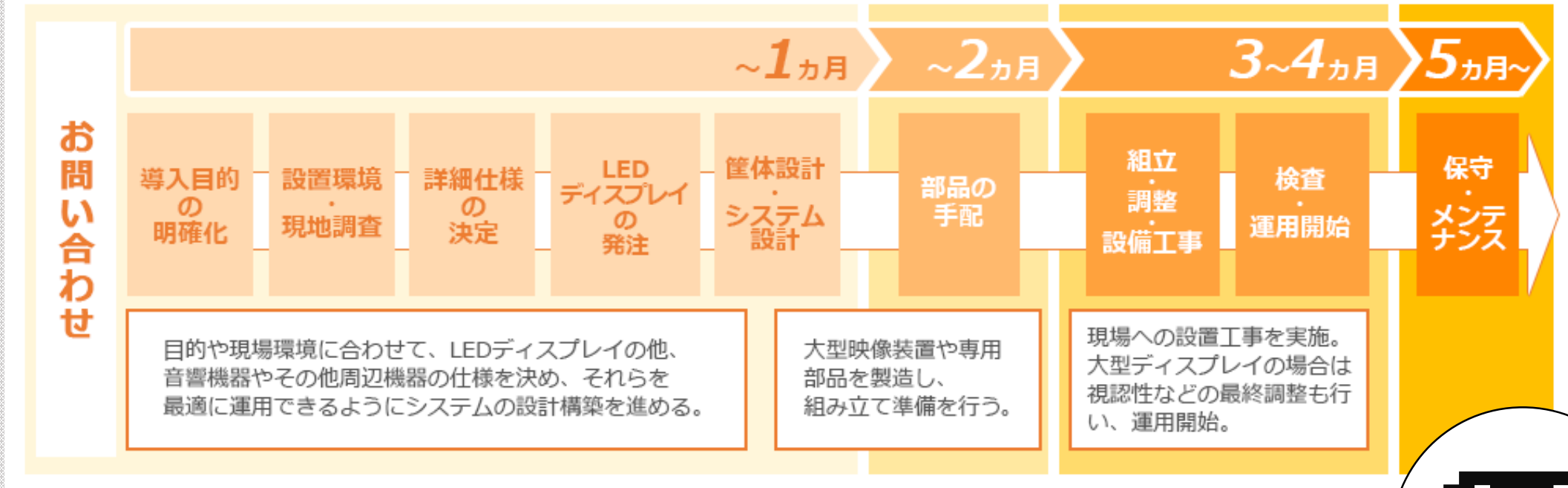




LEDディスプレイ導入の際、お問い合わせ～運用開始まではこのような流れで進めていくことになる。

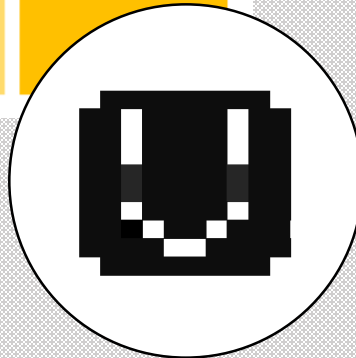
一般的な目安だが、**トータルで3～4ヶ月**ほどで運用が開始されるイメージだ。

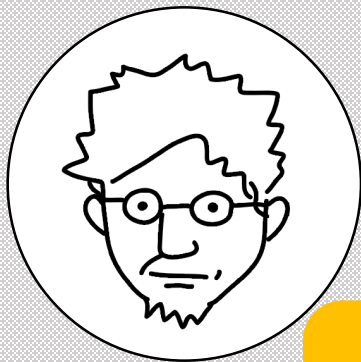
お問い合わせからLEDディスプレイの運用まで



納得のいくLEDディスプレイの設置をするには

この流れや各ステップのポイントを把握しておく必要がありますね！





お問い合わせから商談までの流れで重要なポイントを押さえておこう。

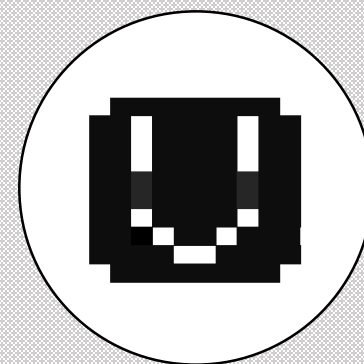
導入目的を明確化する

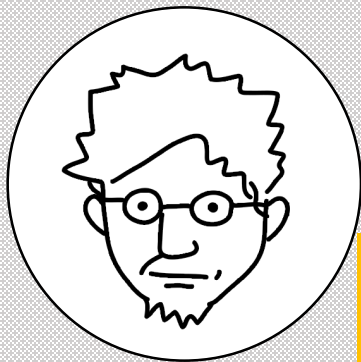
事前準備段階からしっかりとコミュニケーションをとり、
設置環境や表示について認識を共有する

誰にどのような訴求をしたいかという点が

LEDディスプレイをはじめとした機器選びの基準にもつながりますもんね。

お客様の目的を達成できるLEDディスプレイ納入のためにも重要ポイントですね！





お客様の要望や状況に合わせて最適なLEDディスプレイを提案するために、

必ず把握しておくべきポイントは下記5点だ。

導入目的 (用途)

導入目的によってLEDディスプレイに求められる機能も変わる。
(広告用途、情報伝達用途、空間演出用途 etc...)

設置環境

屋外か屋内か、また設置場所の耐荷重やLEDディスプレイを支える箇所の耐久性について確認することが重要。

予算感

予算によって提案可能な内容が変わるため、ヒアリングが必要。

運用 開始時期

基本的にはご依頼から運用開始まで3~4ヶ月要するため、
導入までどれくらいの期間を想定しているのか事前確認が必要。

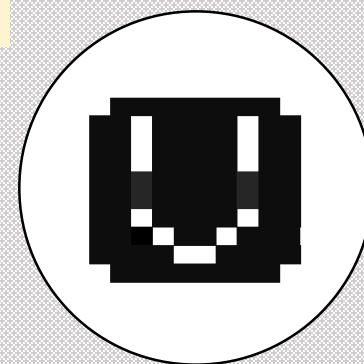
運用期間

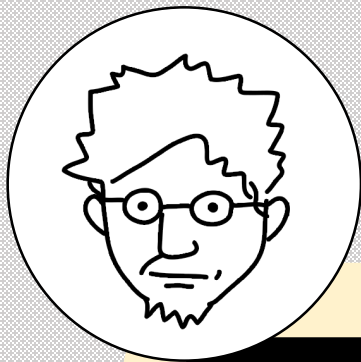
想定されている運用期間によっても提案内容は変わる。

聞くべきことの抜け漏れが発生しないために

ご提案前チェックリストを使うのがおすすめです！

みなさんもぜひ活用してください！ ▶ [ご提案前チェックリストをダウンロード](#)





「店舗空間の演出」や「ブランディング強化」目的でLEDディスプレイを導入する場合、
壁面だけでなく**商業施設内の柱や階段の段差部分に設置**することも有効的だぞ！

店内の支柱などに設置



店内の階段などに設置



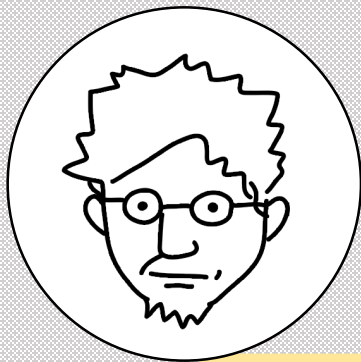
ビルの壁面に設置



決まった規格がなく、設置場所に合わせて自由に設計ができる

LEDディスプレイならではの活用方法ですね！





ヒビノにハード（LEDディスプレイ）とコンテンツを同時に依頼すると

コンテンツの構想段階からクリエイターやクライアントと打ち合わせをしているんだ。

ハード面の特性を理解したヒビノが打ち合わせに加わることで

ハード面の特性を踏まえた上でのコンテンツの提案・制作が行えるんだ。

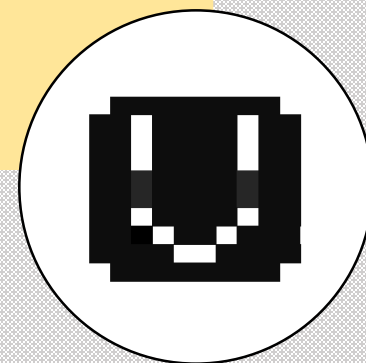
コンテンツ構想段階から三者が関わるヒビノ独自のスキーム

ヒビノとクリエイターが
一元化して、クライアント様の
希望を叶える



ディスプレイのサイズやコンテンツの色味によって表現の仕方も変わってくるので

その場で実際にクライアントに確認いただけるとスムーズに進められますね！



用語	意味
LEDディスプレイ	LEDによる発光で映像を映し出すディスプレイのこと。 素子1つづつが発光する（自発光）映像装置のため、高い没入感が得られ、プロジェクターや液晶に比べて、明るさの面で有利であり、大型のディスプレイとして街頭に設置されたりコンサート等で用いられている。LEDディスプレイには、砲弾型やチップ型のLEDが用いられている。
輝度	明るさの度合いのことを指す。 「cd（カンデラ）」という単位で表され、1cdはロウソク1本分の明るさと言われている。 この「cd（カンデラ）」という単位の語源はラテン語でろうそくを意味する「カンデラ」が由来になっており、英語の「キャンドル」と同じ語源の言葉である。 環境に適した輝度のLEDディスプレイを設置しなければ、視認性が低くなる。
照度	平面に照射された光の明るさのことを指す。 単位はルクス（lx）またはルーメン毎平方メートル（lm/m ² ）。 「lm（ルーメン）」とは、ラテン語で「昼光」を意味する言葉である。 輝度の単位である「cd（カンデラ）」と照度の単位である「lm（ルーメン）」、それぞれの語源を知っていると輝度と照度の違いが理解しやすい。 ろうそくは自ら燃えることで発している明るさ＝輝度 昼光は太陽の光を受けて照らされている明るさ＝照度

ヒビノ株式会社

ヒビノクロマテック Div LED ソリューション部

お問合せ先

03-5419-1607

hp_crm_led@ml.hibino.co.jp

下公 龍彦

平子 了一

〒105-0022 東京都港区海岸2丁目7番70ヒビノ日の出ビル

<https://chromatek.hibino.co.jp/>